

やまこし

1984
2月
第188号

発行/新潟県古志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 ■印刷/大川印刷株式会社 ■2月1日発行



手作りのロープウェイ だよ!

一月八日、種芋原スキー場のロープウェイがオープンしました。約八十人が集まって安全祈願を行い、テープカット。最初は強く降っていた雪も、運転開始のころはやみ、しだいに青空に。

種芋原スキー場にオープン

元気がよくロープにつかまり、急な坂をスライズ。歩くよりもずっと速く上がっていきます。——でも、あんまり大勢つかまると一時停止も、積雪のためロープがゆるんでスリップしたもので、現在は

調整してスムーズに上がります。上では、お神酒と甘酒が振るまわれていました。——このロープウェイ、種芋原スキークラブ(金内一夫会長)の手作りによるもので、全長約三百メートル。土曜、日曜、祝祭日に運転されています。歩いて上がるよりも、このロープウェイ、一月十二日のスキー教室のときは、約百二十人が滑りました。



2月の内科診療日



診療所の後任医師が決まるまでの暫定措置として、長岡日赤病院および小千谷市北村医院の協力により、次のとおり診療を行います。

【種芋原診療所】

(診療時間 午後1時～3時)
※13日は午前9時30分～正午

3日(金) 6日(月) ※13日(月)
15日(水) 24日(金) 27日(月)

【虫亀診療所】

(診療時間 午後1時～3時)

8日(水) 21日(火)

【竹沢診療所】

(診療受付時間 午後1時～2時)

9日(水) 23日(水)

健康相談

※検診の結果、指導を必要といわれた人は、とくにおいでください。

期 日	会 場	時 間
2月16日(水)	種芋原公民館	10:00～15:00
17日(木)	虫亀診療所	10:00～12:00
	池谷集落センター	13:30～15:00

村内小学校(4年生以上) 親善スキー大会

2月24日(金)

10時～午後3時30分

焼山スキー場

おとうさん、おかあさん方も、声援をおくってください。



お知らせ



貸付繁殖牛の申込受付

繁殖牛(仔取り用の雌牛)を飼いませんか。今、貸付牛の申し込みを受け付けています。村がみなさんに十か月齢から一歳くらいの雌牛をお貸しして仔牛を産んでもらい、産まれた仔牛の中から一頭の雌牛を返してもらおう

ものです。五十二年から今まで、約三十頭を貸し、ほぼ順調に仔牛が生まれています。
▽申込期間……三月末日まで
▽貸付時期……五月の予定
▽貸付対象者……六十歳以上の人および出稼ぎ

世帯の二十歳以上の人で、原則として飼育経験のある人。
▽貸付条件
① 貸付して五年間以内に、雌牛を生産し、貸付した時の牛と同資質以上の雌牛を村に納めること。雌牛が生まれなかったなどの場合、それに見合った対価を納めていただきます。(仔牛の返納等により、貸付牛は借受者に譲渡します)
② 家畜共済に加入するなど、万一の事故に備えること。
▽貸付頭数……一人二頭以内
▽申し込み……申し込み、その他詳しいことは産業課へお問い合わせください。

バイク・耕うん機 軽四輪



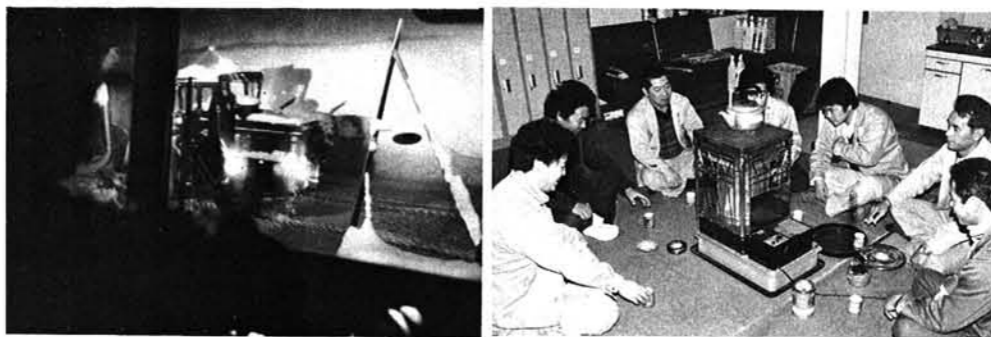
売買、廃車などの 手続きはお早めに

もうバイクがないのに税金だけがた……毎年五月の軽自動車税の納税時期になると、こんな問い合わせがよくきます。廃車や売買の手続きをしなかったため、税金がかかったものです。軽自動車税は、毎年四月一日現在で、そのバイクや軽四輪を持つ

ている人に、一年分の税金をかけるものです。ですから、三月末までに売却や廃車の手続きをすれば翌年度から税金はかかりません。また、四月以降に手続きをしても税金の割りもどしはしません。買い替えや売ったりした人は、手続きを忘れていないか、もう一度確かめてください。
▼手続きは……二五〇〇円までのバイク、耕うん機は役場税務課へ。印鑑と、廃車や他市町村に売ったときはナンバーを持ってきてください。
軽四輪、二五〇〇円を超える二輪車は陸運事務所へ手続きをします。自動車販売店などでも手続きを代行してくれます。(税務課)

除雪車同乗記

人の起きる前が勝負



3:40 出動前の打合せ

3:50 V型ドーザーを先頭に出動

昨年十二月早くから根雪になった今冬の雪は、一月二十日で四十二センチの積雪に達し、累計降雪量は十センチと早くも昨年を上回りました。とくに、冷え込みが厳しく、すでに大雪警報も二回発令。雪下ろしも五、六回を数えており、まだ先は長く、豪雪になりそうな気配です。

こうした中、人の動き出す前に道を開けることが使命と、除雪隊は、連日朝暗いうちからがんばっています。

一月二十日、バス路線などの除雪を担当している株大久保土建の除雪ロータリー車に同乗させてもらうことができましたので、その様子を紹介します。

この日は、圧雪五センチの上に新たな降雪十五センチ。降雪は少なかつたものの、冷え込みの厳しい朝でした。(朝八時現在の気温は、マイナス三度)

朝3時半に始動

3時35分……除雪隊の詰所に行くと、すでに除雪車四台のエンジ

ンはかかっており、ライトがついている。詰所の中では、朝茶を飲みながら打合せをしていた。朝早いのに、みんな目は輝いている。

3時50分……「事故のないように」のかけ声で、いよいよ出動。竹沢と東竹沢方面に行く樺沢一治さんと松田誠さん運転のロータリー車に同乗。二階上の座席により登り中央にすわる。左が運転手、右が助手、乗用車と反対だ。

V型ドーザーを先頭にドーザー、ロータリー車二台が続く。四台で桂谷の三叉路まで行き、V型ドーザーとロータリー車一台は虫電、濁沢方面に進んだ。ドーザーと、同乗させてもらったロータリー車は、羽黒トンネル口を除雪し、間内平へと折り返す。

4時20分……役場新庁舎の工事現場を過ぎる。ドーザーは前を行き右側の雪を中央に出す。ロータリー車は左側の雪の壁いっばいに寄って雪を飛ばして行く。

4時30分……竹沢三叉路に到着。道幅が広く、また雪捨て場がないため、ドーザーが押し出してきた雪を飛ばす。雪が軽く、雪煙とな

って舞い上がる。

この辺から人家が混んでくる。車庫もある。加えて雪捨て場が少ない。捨て場を求めて助手が前後左右とシユート(雪を飛ばす長い筒)を忙しく操作する。運転手もそれに合わせて停車、発進を繰り返す。

「はいっ、よしっ」と声をかけあうだけで、すばらしいチームワークである。

雪を前方に吹き出すと前がよく見えないので、運転手も助手も窓に顔をすりつけて確認する。山側に吹くと、表層なだれのようにな



4:30 下村三叉路。まだひと気のない暗闇の中で、雪との闘いが続く。



6:30 梶金

り、発進するときにはチーンが火花を放った。そのあとすぐロータリー車も、行くときと反対側の雪を飛ばしながら来た。再び乗車、暖房がきいていて、ホツとする。

ところで、前の日に、「除雪車の乗りごこちは乗用車なみ」と聞かされていたが、けっこうゆるゆる。音は、室内ではそれほど大きくなく、普通に話せる。

5時40分……下村に入る。まだ真つ暗なのにチラホラ人影が見える。家の前の雪払いだ。

5時50分……保育所入口の先で先に行ったドーザーが手前に雪を押し寄せて来る。屋混みで、雪を捨てる場所がないのだ。

ふと後ろを見ると、濁沢まで行ったはずのV型ドーザーがやって来た。二丁野に入るのだそうだが、ずいぶん速い。

竹沢トンネルを過ぎて、車庫やイケスなどがなくなると、プロウ(ロータリー部から直接的に雪を吹き飛ばす)に切り替え、快調に進む。といっても、速度は十キロにはならない。



6:45 1番のバスが来る

ん少し明るくなった。ここで運転手と助手が交代した。

6時40分……梶金バス停(終点)に到着。ここで降りてバスを待つことにする。除雪車は木籠、小松倉隧道入口、十二平へ。

6時45分……チェーンの音を響かせながら、バスが来た。堀井運転手に、除雪について聞いてみた。

「こっけのいい除雪はないよ。なだれでもなければ平場の路線より正確だね。我々だって平場(のバス運行)にや負けたくないしね。ただ、雪の壁が高くなると困る。カーブで先が見えないからね」

6時56分……女性客四人を乗せ、定刻にバス発車。まわりは、すっかり明るくなっていた。

除雪車が来るまで、一月十四日に完成したばかりのバス待合所の中で、通る車を数えた。最初に通ったのは六時五十分。八時までに竹沢方向へ車十二台とバイク二百十二平方向へは車五台だった。

7時50分……東竹沢小の梶金の



7:50 梶金の児童が登校

児童八人が登校。滑りやすい道なのに歩くのが速い。いっしょに歩

いたが、学校前の坂がきつい。そういえば、除雪開始前の打合せで、「東竹沢小学校の坂は、ドーザーで押して上がれないので、ロータリーで吹いてくれ」と言っていた。

8時10分……木籠、小松倉隧道、十二平の除雪を終え、ドーザーとロータリー車が連らなってもどってきた。二台がバス停に止まる、と同時に竹沢の方からジープが入ってくる。運転手の交代である。

ロータリー車には川上春雄さんと五十嵐文男さんが乗車、またそれと同乗させてもらう。

今度はまわり中明るく、運転する様子がよくわかる。よく見ると、前進・後退、アクセル、ブレーキを左手一本でやっている。

外は吹いた雪が粉雪となって、やはり見えにくい。「むしろ、多少湿った雪のほうが楽」と。それに車が来るたびに停車して先にや



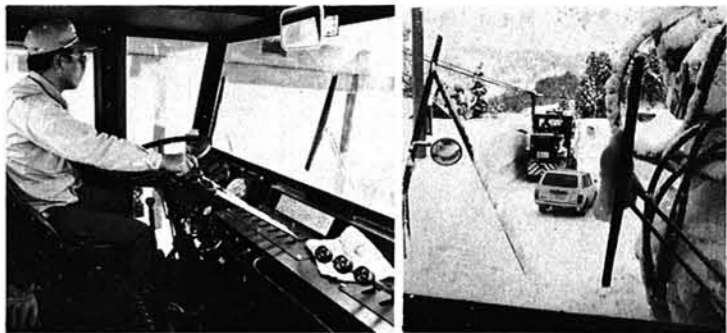
8:10 梶金バス停 5:25 間内平

って落ちてくることもある。でも、ほかに捨て場がなければ、そこに吹くしかない。また、道に張り出した雑木がパチパチと運転手側の窓を打つ。

5時00分……間内平の上のバス停で写真撮影のため下車。上がってくる除雪車を待つ。外は予想以上に冷えており、街灯がついているだけで、人の気配は全くない。

5時25分……ドーザーが圧雪をはぎながら上がってきた。除雪車なのにけっこうスリッパしている。いったんバックして、ブレーキをかけたら二、三メートルと滑

6時25分……梶金に入ると、ほ



ロータリー車の運転席

8:55 下村三叉路

村長選挙は 3月25日に

告示は3月20日

村長の任期満了（3月30日）に伴い、今年選挙が行われます。私たちのいちばん身近な選挙ですが、1月20日の選挙管理委員会で、3月20日（火）に告示、投票日は3月25日（日）と決まりました。

選挙期間は5日、立候補も1日だけ

公職選挙法の改正により、村長選挙の選挙期間（告示から投票日の前日まで）が、5日間（従来7日間）に短縮されました。立候補の届け出も、3月20日の1日間（従来2日間）だけです。また、立会演説会も廃止されました。

出稼ぎ者や入院中などの人は不在者投票の請求をお早めに

投票日に投票できない場合は、不在者投票をすることができます。その期間は、3月20日から24日までです。

出稼ぎ中の人や病院に入院中の人（病院長を通して投票します）などは、投票用紙の請求→送付→投票→返送、という手順をとりますが、郵送ですので時間がかかります。また、選挙期間も短くなりました。

このため、従来は告示の日に発送していた投票用紙を、告示の2日前に発送します。ただし、投票用紙が告示の日より前に着いても、投票は必ず3月20日の告示の日になってから行ってください。告示の前に投票すると無効になります。

投票用紙の請求は告示前にもできますので、早めに済ませてください。用紙は2月下旬から選挙管理委員会に用意してあります。また、入院中の方も早めに病院長に申し出てください。

ただ、除雪時刻を計算してか、登校する児童、保育所児童などは会わず、また歩いている人も少ない。
8時35分…梶金から下村へ向かう途中、日が当たってきた。一週間の青空に、車内にも解放感が漂う。
8時50分…下村に入る。ちょうど二丁野に入っていたもう一台のロータリー車が前を行く。一人のおじいちゃんが、除雪でけずったためについた約一メートルの段差をはい上がっていた。「おーお、かわいそうに」、そうやって除雪車を向ける。固い雪に二百五十馬力のエンジンがうなり、二丁野に進んだ。が、段差の高さは変わらず、

「まあいいや、あとはスコップですれば」。
9時05分…会社に到着。出発前に三千六百二十メートルだったメーターは三千六百四十一メートル。五時間十九分、行程だった。
運転手は、除雪車に付いた雪をスコップで落としている。
詰所に入ると、「天気がいいので今日はもう出勤はないだろう」と、みんなホッとしている様子だった。
5日交代で会社泊り
ところで、除雪隊員は二組に分かれ、五日交代で「早出」に。早

出のときは会社に泊る。「雪が続いて三日目になると、夜八時ころはもう目をあけていられない」。降る雪の量と酒の量が一致するという。「今年もそこそこ。雪もいっぱい降ったし……」。
人工なだれが困る？
除雪の支障になるといったら、まず路上駐車が浮かぶ。だが最近はずいぶん減り、この日の朝は一台、それも帰りにはもういなくなった。ただ日中はけっこう多いという。それより困るのが「人工なだれ」だ。人工なだれは、何のことだろうと思っ

捨てることだった。道をきれいにした後、「人間」がせつせ、せつせと道に「雪を出す」というのである。
「その必要もないと思うのに、玄関や家の周りをきれいにさせて雪は道に出す。川やガケにぶちやられても、わざわざ道に出す。頭にこないようには思っているんだが、の……」
「中には、雪のやり場が全然なくて、オレたちから見てもかわいそうだと思う家もあるんだね。それに、朝早いけど除雪車が行く前なら、ちつとぐらいいね」



住民税・所得税の申告は

2月16日～3月15日

▽申告しなくてよい人…①五十八年中に所得が全くない人②サラリーマンで給与所得だけの人③所得税の確定申告を行った人

○所得税(確定申告)

…農家や商店など事業をしている人、不動産所得がある人などで、五十八年中の所得が、所得控除を超える人。②サラリーマンで、年収が一千万円を超える人、二か所以上から給与を受けた人、給与以外で二十万円を超える所得がある人。

納税相談

日程表のとおり、住民税の納税相談を開き、申告の指導や受付を行います。今から収入や必要経費などの関係資料を整えるなど、申告の準備を始めてください。所得税も二月二十二日(水)に納税相談が開かれます。なお、税務署

納税相談日程

期日	会場	対象	時間
2月16日(木)	役場	油夫、桂谷	9:00~16:00
17日(金)	梶金集会所	梶金	9:00~11:30
	大久保集会所	大久保	13:30~16:00
20日(月)	虫亀診療所	虫亀	9:30~16:00
21日(火)			9:00~15:00
22日(水)	所得税納税相談(会場一役場) 10:00~15:00		
23日(木)	虫亀診療所	虫亀	9:00~16:00 (27日は9:30から)
24日(金)	下村集落センター	下村、向田、二丁野	
27日(月)~3月1日(木)	種芋原公民館	種芋原	
2日(金)	間内平集会所	菖蒲、山中、間内平	9:30~16:00
5日(月)	池谷集落センター	池谷	9:30~15:00
6日(火)	檜木集会所	檜木	10:00~15:00
7日(水)	木籠集会所	木籠	
8日(木)	小松倉集会所	小松倉	

申告書は自分で書きましょう

住民税の申告書用紙は区長さんを通じて、また所得税の申告書用紙は税務署から郵送等で、各人ごとにお渡しします。
申告書の書き方はむずかしいもの、と決めてかからずに、まず、住所・氏名・扶養親族など、わかる箇所から書いてみましょう。

確定申告書用紙をなくさないように

今年から、税務所から送られてくる所得税の確定申告書用紙に納税者番号が記入されています。申告をコンピューター処理するためのもので、確定申告書用紙はなくさないよう、納税相談の際持ってきてください。もしなくしますと、新しく番号を入れることになり、一人に二つの番号が付いてしまいます。

申告しなければならぬ人

○住民税…今年一月一日現在で山古志村に住んでいる人(旅行や出稼ぎの人を含む)で、次の人を除く全ての人の。



子供の家庭教育を考える(26)

子育てについて、二年間みなさんと一緒に考えてきました。家庭教育というものは、学校の子供たちの学習のように、きちんとした教科書がありません。また、カリキュラム(教育課程)もはっきりしていません。同じ「教育」と名がついても、学校教育に比べ家庭教育は、なんだかとらえどころがないですね。

家庭教育の教科書とは、きっと親なんじゃないかな、なんて思ったりするのですが——私たちは、「少し」考え、長く実行して、平凡な親の姿を保っている——これが実際の話のようですね。それ、いいと思います。

家庭教育講座の中で、いつも出てきた話題に「テレビの見せ方」があります。今回はこのことについて、もう一度考えてみましょう。昨年七月に行った調査で、山古志の小学生は、平日の自由時間が平均三時間二十四分あり、そのうち三時間二十分をテレビで過ごし

ているというのです。休日も自由時間七時間十八分のうち、テレビが五時間十分。——全国の平均と比べても、絶対的に多い数字です。そして、山古志の子供たちにも明らかに遊びの変化が表われてきた

テレビ この偉大なるもの



ことを証明しています。つまり、「戸外で、仲間たちと、体を動かす」遊びから、「室内で、ひとりで、体を動かさない」遊びへと変わってきたのです。

『鐘の鳴る丘』や『笛吹童子』、『赤銅鈴之助』——今、小学生の親である世代の人たちが子供のころのラジオ番組です。『ちょこざいな小僧め、名を、名をなのれ』、『赤銅鈴之助』、『月剣をとって日本一に』……今でもはっきり思い出せるほど、真剣に聞いたも

のですね。ちやうど夕食の時間帯で、ラジオにかじりついてはよくおこられたものでした。現在は、時間によってはそのチャンネルを出しても子供番組。朝は六時から、夜は九時を過ぎてもまだ子供の興味をひくような番組がズラリ。スイッチひとつで、何の努力をしなくても、速い世界のできごとが目の前に飛び込んできます。

テレビを子守り唄代わりに育った世代が現代の子供たちである、と言っても言い過ぎではないでしょう。子供の生活の中でテレビの占める比重は極めて大きく、子供たちのこれからの人生は、テレビとの関係をぬきには考えることができないほどです。

手元にある資料から、実態をもう少し掘り下げてみましょう。まず、子供たちのあげた、それぞれ第一位の番組です。(下の表)……ニュースはためになるしおかあさんもすすめるけど、大嫌いだ。見たいのは「八時だよ」だけど、おかあさんはいやな顔をする、と

いうことになりました。

いっぽう、テレビを見る時間の短い子供ほど「自分を見る目」は明るく、長い子供ほど暗いという資料があります。視聴時間が長い子供ほど「自分に自信が持てない」「友だちが立派に見える」「学校へ行きたくない」というのです。子供たちも「もう見るのをやめなければ……」という一種の後ろめたい気持ちを抱きます。こんなときに親から「もうやめなさい」などと言われると、「やめなくて」と思う反面、「おかあさんだっしょっつちゅう見てるくせに」——

こんなデータもあります。「テレビ視聴時間の短い子の六五割は、視聴時間の短い母親に育てられている」。長い子は母親も長い

- ①おもしろい番組——「8時だよ、全員集合」
- ②大好きな番組——「ザ・ベストテン」
- ③大嫌いな番組——「ニュース」
- ④気晴らしになる番組——「漫才番組」
- ⑤ためになる番組——「ニュース」
- ⑥勉強に役立つ番組——「教育番組」
- ⑦おかあさんがいやな顔をする番組——「8時だよ、全員集合」
- ⑧おかあさんがすすめる番組——「ニュース」

というデータです。つまり、母親があまりテレビを見なければ子供も見ない。そして、母親が余暇を積極的に利用していると、子供もつられてテレビ離れをするというのです。「望ましいテレビの見せ方」、その前提に、親の態度があげられるとは耳の痛い話ですね。

▽新聞の番組表に、見る番組に印をつける。それ以外は見ない。▽一つの番組が終わったらテレビを消す(たとえ二、三分でも)。▽親がニュースを見たら、解説して子供に聞かせてやる。

具体的にこんなことを、少しずつ根気よく実行してみたらどうでしょうか。「規制」自主的な規制「積極的な選択」というように、ステップをふんで進むことが大切といわれています。

『赤銅鈴之助』の時代は、「子供」の番組は、たったそれだけしかなかった」ので、自然に規制を受けていたのです。

参考「二十一世紀への家庭教育」この連載も終わりに近づきました。子育てについて、御意見、感想をお寄せください。教育委員会 福原



種芋原バド・少年団

県大会で準優勝

1月16日に開かれた第2回県小学生バドミントン大会で、種芋原バドミントン・スポーツ少年団から、男子単で長谷川繁君が、男子

複で小川英幸君/樺沢久君がそれぞれ準優勝になりました。また、小川栄児君/樺沢博文君も男子複で3位に。

会場の新潟市鳥屋野総合体育館には、23校、17団体の185名が出場し、種芋原からも12名が参加。惜しくも優勝はとれなかったものの、県のトップレベルの実力を証明してくれました。

おどろきまします

33

ご主人は97年上—— 「地味なかつこうさせないよう、服を買うときはでめなものに」

松井幸子さん 木籠



めなものに。でも原色のものとはいかなしい、店の人に見立ててもらっても、あまりはでじゃないし……。この前、テレビで共通一次の受験生が同じセーター着てたんですね。ちょっと自信持ったり、着る人が着れば若げなんだがなあって思ったり……。たまに、「こんなの仕事で着れない」と言うこともあるんですが、それしか出さないので結局は着ていくんです」

東京では社交ダンスをやっていた幸子さん。また、書道をやると落ち着くといひます。墨をすったり、和歌や俳句の手本を見てサラサラと——でも、のし袋の名前書きを頼まれて「人の名前は難しい、ああ、下手だなあって」。

去年の春免許を取って、軽自動車運転します。靖博さんにタイヤ交換やチェーンがけも教えてもらいました。冬はダメ。「前も後ろもぶつけてペコペコ。私の車を見たらよけてください」

これからの抱負は、「まず、子供がいなくて……。親や仲人に会うと、まだかまだかって。こればかりは生まれてみないことにはね」

松井商店の若奥さん、幸子さん(25歳)は、一昨年の秋に嫁いできました。ご主人は靖博さん。実家は二丁野の星野義太郎さん方。高校を卒業して五年間東京の郵便局に勤めていました。そして親戚の紹介で結婚。「商店に稼ぐということとはとくに意識しなかったし、人からはよく帰ってきたねえ」といわれたんですけど、まあ、なるようになるって感じで。店はおばあちゃん、靖博さんは車で飼料や肥料、酒などを配達して家にいるのが日中は食事時だけと。幸子さんは主婦業全般をまかされてお、「おばあちゃんが留守のとき店に出たり、事務をちょっとくらい」。商売は春先と雪降り前がいちばん忙しく、去年の夏は「さなぎを持ってこい」という電話がジャンジャンかかってきて、県外に行ったり、夜も飛んで行ったりしたそうです。

「一回だけ、さなぎ取りに県外に連れて行ってもらったんですけど、朝早くから、帰ったのが夜中の二時過ぎ……。私の体がもたないし、重いものばかりでしょう。……それ以来、仕事でいっしょに連れて行ってくれないんです」ところで、靖博さんは幸子さんより九歳年上です。「私がふけて見えるからちやうどいいんですって。いつも二つか三つは上に見られます。靖博さんに地味なかつこうさせないよう、服を買うときはでめなものは、